

特例社団法人日本小児保健協会

平成 21 年度理事・支部長会 議事録

日時：平成 21 年 10 月 29 日（木）15：00～16：00

会場：大阪国際会議場

出席者：衛藤 隆（会長）・加藤達夫（副会長）・福永慶隆・五十嵐 隆・高橋孝雄・大西文子・小板橋靖・平岩幹男（常任理事）・山口規容子（監事）・高橋明雄・春木伸一・山崎嘉久・大藪恵一・竹内義博・布井博幸・松石豊次郎（理事）
他、各支部長 28 名
理事 25 名中 16 名出席、委任状 5 名 理事会は成立した。

議長：衛藤 隆会長

議事録署名人：渡辺 博氏・五十嵐 徹氏（東京都）が推薦され承認された。

《報告事項》

1. 平成 21 年度人事・事業実施報告

*平成 21 年度人事・事業実施報告に関して各担当常任理事より報告がなされた。

(1) 会員数（福永慶隆理事）

	平成 20 年 3 月 31 日	平成 21 年 3 月 31 日	平成 21 年 9 月 30 日
会 員	4,962 名	4,865 名	5,015 名
	正会員 4,633 名 (内入会数 380 名)	正会員 4,563 名 (内入会数 276 名)	正会員 4,697 名 (内入会数 324 名)
	団 体 329 団体	団 体 302 団体	団 体 318 団体
賛助会員	16 社	15 社	15 社

(2) 人事について（福永慶隆理事）

1) 支部長交代

(支部)	(旧)	(新)
富 山	撰津 浩二 (セツ コウジ)	本間 一正 (ホンマ カズマサ)
三 重	多喜 紀雄 (タキ キオ)	庵原 俊昭 (イハラ トシアキ)
奈 良	吉岡 章 (ヨシカ アキラ)	嶋 緑倫 (シマ ミドリ)
山 口	古川 漸 (フルカワ スム)	市山 高志 (イチヤマ タシ)

(敬称略)

2) 訃報

該当者なし

(3) 役員会などの開催 (福永慶隆理事)

全国理事会 1 回、支部長会 1 回、常任理事会 3 回、編集委員会 3 回、予防接種・感染症委員会 3 回、小児救急の社会的サポートに関する委員会 1 回、学校保健委員会 3 回、チャイルドシート検討委員会 1 回、平成 22 年度幼児健康度調査小委員会 2 回を開催し本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営している。

(4) 平成 21 年度春季総会 (福永慶隆理事)

平成 21 年 4 月 17 日(金)、奈良県立婦人会館において、春季総会が開催された。社員総数 212 名(理事 25 名、代議員 187 名)出席者数 163 名(うち委任状 112 通)であり、総会は成立した。議長に渡辺 博氏、議事録署名人に齋藤 麗子(東京都)・服部 益治(兵庫県)両氏を選任し開会した。

下記の議案が承認された。

- 1) 平成 20 年度事業報告
- 2) 平成 20 年度収支決算および監査報告

(5) 日本小児保健学会の開催 (福永慶隆理事)

第 56 回日本小児保健学会は、大阪大学大学院医学系研究科小児科学 大菌 恵一教授を会頭として、平成 21 年 10 月 29 日(木)・30 日(金)・31 日(土)の 3 日間。大阪国際会議場(大阪)に於いて開催。

テーマ:「すくすく育て、こころとからだ」

(6) 機関誌等の刊行 (小板橋 靖理事)

- ・「小児保健研究」現在 68 巻 5 号まで発刊した。
- ・小児保健シリーズ No. 63 「小児保健ネットワーク」を刊行した。
(小児保健研究 68 巻 4 号に同封)
- ・小児保健シリーズ No. 64 「乳幼児健診とその周辺、いま知っておきたいこと」を刊行した。(小児保健研究 68 巻 5 号に同封)

(7) 講演会等の開催 (高橋孝雄理事)

- 1) 支部研修会開催助成
 - ・「平成 21 年度岩手県小児保健研修会」
 - ・「平成 21 年度徳島県小児保健研修会」
 - ・「第 20 回石川県小児保健学会および研修会」

- ・「平成 21 年度栃木県小児保健協会総会・研修会」
 - ・「秋田県小児アレルギーフォーラム 2009」
 - ・「母子保健研修会」(山梨県小児保健協会)
- 2) DENVER II ーデンバー発達判定法ー判定技術養成講習会を平成 21 年 5 月 2 日(土)に国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて開催し、参加者数は 50 名であった。

(8) 小児保健セミナーの開催 (高橋孝雄理事)

- 1) 第 26 回小児保健セミナー「乳幼児健診とその周辺、いま知っておきたいこと」を平成 21 年 6 月 21 日(日)に国立成育医療センター講堂に於いて開催し、参加者数は 246 名であった。

(9) 協会活動 (大西文子理事)

1) 編集委員会、予防接種・感染症委員会、小児救急の社会的サポートに関する委員会、学校保健委員会、チャイルドシート検討委員会、平成 22 年度幼児健康度調査委員会のそれぞれが本協会の目的のために活動している。

2) スマトラ島沖地震へ義援金を拠出した。

3) チャイルドシート啓発活動：第 16 回日本家族看護学会学術集会ランチョンセミナー

日時：平成 21 年 9 月 6 日(日)

会場：高山市民会館

テーマ：「家族の傷害予防とチャイルドシート」

講演：服部益治(兵庫医科大学小児科)

デビット中林(NPO 法人チャイルドセーフティ)

座長：大西文子(藤田保健衛生大学医療科学部)

(10) 日本小児科連絡協議会 (福永慶隆理事)

日本小児科学会・日本小児科医会(日本小児科連絡協議会)との合同で、日本小児科連絡協議会 3 回、合同委員会：「子どもをタバコの害から守る」合同委員会 2 回、自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会 2 回、子育て支援ガイドライン(仮称)編集委員会 1 回を開催し、目的に沿った活動を行っている。

2. 平成 22 年度事業計画案

*平成 22 年度事業計画案に関して福永慶隆理事より報告があり承認された。

(1) 日本小児保健学会開催

第 57 回日本小児保健学会は、新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野 内山聖教授を会頭として、平成 22 年 9 月 16 日(木)・17 日(金)・18 日(土)の 3 日間。

朱鷺メッセ（新潟）に於いて開催する。

テーマ：「子ども達の未来を信じよう、そして、子ども達が夢を持てる社会に」

（２）「小児保健研究」を年内に６冊刊行する。また、小児保健シリーズを１冊以上刊行し、支部活動等に役立てる。

（３）講演会等の開催

１）支部研修会開催助成

（４）教育普及の拡充

協会の事業として教育普及の拡充につとめる。

第２７回小児保健セミナーは、平成２２年６月２０日（日）に開催する。

テーマ「未定」、会場「国立成育医療センター講堂」。

（５）協会活動の充実

協会活動助成（研究助成・実践活動助成）授賞者の決定および表彰を行う。

本協会の目的に役立つ事業の実施につとめる。

３．平成２２年度収支予算案

*財務担当 五十嵐 隆理事より平成２２年度収支予算案が別紙の如く提案され、承認された。

４．協会活動助成について （大西文子理事）

*平成２１年度小児保健協会活動助成が下記の通り決定し、承認された。

《研究助成》

○本郷 実 氏（信州大学医学部保健学科）

「中学生の生活習慣病調査研究と社会的取り組み」

《実践活動助成》

○関 秀俊 氏（金沢大学医学部保健学科）

「NPO法人 子どもの虐待防止ネットワーク石川（CAPNET石川）」

○中川 恒夫 氏（子どもをタバコから守る会・愛知 世話人代表）

「愛知県内の遊園地、公園等の脱タバコ対策に関する継続調査」

５．平成２１年度名誉会員の推薦 （福永慶隆理事）

東京都 村上 睦美（ムラカミ ムツミ）

石川県 佐藤 保 (サトウ タモツ)
石川県 右田 俊 (ミギタ トシ)
石川県 兼松 謙三 (カネツ ケンゾウ)
島根県 飯塚 雄哉 (イヅカ ユウヤ)

* 上記5名が承認された。

(敬称略)

6. 第58回(平成23年)日本小児保健学会会頭について (福永慶隆理事)

* 下記の通り決定し、承認され、大西文子会頭より挨拶がなされた。

第58回(平成23年)日本小児保健学会会頭

会頭：藤田保健衛生大学医療科学部看護学科小児看護学 大西文子教授

日程：平成23年9月1日(木) 2日(金) 3日(土)

会場：名古屋国際会議場

仮テーマ：「地域で暮らす子どもと家族にできること！」

～継続看護を含めた家族看護の立場から、学校保健を中心とした小児保健の立場から～

7. 支部活動 (大西文子理事)

1) 全国47支部は、研修会の開催、機関誌等の発行を行っている。

(平成20年度支部活動は、小児保健研究第68巻4号P.498-512を参照)

8. 次期代議員・理事選任 (衛藤 隆会長)

* 衛藤 隆会長より次期代議員・理事が別紙の如く提案され、承認された。

9. その他

(1) 平成22年度幼児健康度調査の件として衛藤会長より、来年度に調査を実施する旨、概要が説明された。

《審議事項》

1. 小児救急の社会的サポートに関する委員会より、小児救急電話相談員の研修会を平成23年度を目途に立ち上げたい旨、大西理事より提案があり承認された。

平成 21 年 12 月 10 日

特例社団法人 社団法人日本小児保健協会

議 長 衛藤 隆 (印)

議事録署名人 渡辺 博 (印)

議事録署名人 五十嵐 徹 (印)